

高良鉄美後援会(沖縄事務所)

〒903-0803 沖縄県那覇市首里平良町1-18津嘉山ビル102号室
TEL: 098-885-7171 FAX: 098-885-7181

国会事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館712号室
TEL: 03-6550-0712 FAX: 03-6551-0712

[タカラ鉄美 公式サイト] takara-okinawa.jp

@takaratetsumi19



10月9-10日 伊波洋一議員、屋良朝博前議員と伊是名島を視察

明けましておめでとうございます。

2024年は辰年、龍の年です。首里城の正殿には龍柱が構えられ、また正面屋根には前向きの龍が、最も高い屋根の両端には横向きの龍が鎮座しています。この屋根飾りは龍頭棟飾(りゅうとうむなかざり)というそうです。

龍と密接なつながりを持つ琉球・沖縄は、いま国際社会で安全保障、経済の面で最も重要な存在であり、相互関係を持つ米中を東西に置き、北には世界3位の経済大国、日本本土があるという、地球上で最もキーとなる座標にあります。それだけでなく、南には台湾もあり、世界のエネルギーが緊張関係も含めて最も集まってくる地点でもあります。単に「万国津梁」という位置づけだけでなく、もっと積極的な琉球・沖縄の役割があり、能動的な輝きを放つ行動が、琉球の民に求められているのかもしれません。

そもそも琉という字は「宝」や「貴重な存在」を意味するもので、「宝玉」そのものではないかと思うのです。龍が握っている宝石のような玉がありますが、「如意宝珠(にょいほうじゅ)」というように、病を治したり、災いを避けたり、あらゆる願いが叶う神聖な玉だと言われているそうです。私には、どうもこの宝珠が「宝の球」、つまり琉球ではないかと思わずにはられません。

これまで沖縄県(民)は、辺野古新基地建設問題をはじめ、司法を信じて、幾度となく、訴えを提起してきました。「法の支配」の重要な要素の一つとして、権力の恣意的な

行使をコントロールする裁判所の「役割に対する尊重」が挙げられます。昨年のいわゆる辺野古裁判は、まさに、裁判所が「憲法の番人」としての「役割」を果たしたかどうかとも問われたと言えます。なぜなら、国と地方が対等関係にあることを基本とし、住民の民意と地方自治体の独立性を内容とするのが「地方自治の本旨」の意義だからです。ところが辺野古埋立設計変更に対して内容をほとんど審査せず、恣意的な国家権力の行使をコントロールすべき司法権の役割を放棄したというべきです。琉球・沖縄の存在は、日本における司法権と地方自治の在り方を日本全国にあらためて問う、いわば憲法を輝かせる「磨き石」ともいえます。

もう一つ宝の球(キュー、9)があります。そうです、憲法9条です。22年2月のロシアによるウクライナ軍事侵攻、23年10月のハマスの奇襲攻撃、イスラエルの報復、と続き、いずれも年を越しても解決の道筋は見えません。侵略行為は許されません。犠牲となるのは兵士の命だけではなく、はるかに多い無事の市民、とりわけ子どもたちの命です。人間の尊厳を最も侵害するのは戦争であり、それを絶対に止めるべきという9条外交を、日本の基本姿勢とすべきです。仲裁でも、和解でも、仲介でも、調停でも、とにかくすべての手段を戦争を止めるために行っていく。これこそが肝要であり、沖縄戦を経験した「命どう宝の球」、琉球の思いを龍の年に広めていきましょう。

2024年 元旦 高良鉄美

国会報告 第212回国会

今年10月20日に召集された臨時国会(第212回国会)は、12月13日に閉会しました。通常国会で成立した法案は、閣法12本、議員立法2本の計14本でした。

10月20日、通常国会に続き、参議院で「政府開発援助等及び沖縄・北方問題に関する特別委員会」が設置されたことから、参議院会派「沖縄の風」として抗議声明を出し、伊波洋一議員とともに記者会見を行いました。

10月23日の所信挨拶で岸田文雄首相は、「変化の流れを絶対に逃さない、掴み取る」と力説しましたが、打ち出す政策はことごとく国民の心を掴むことができず、終盤国会では自民党の政治資金パーティー問題が明らかになって、支持率は総辞職に値する1割台まで落ち込みました。

◆ 外交防衛委員会

閉会中の9月13日に発足した第2次岸田第2次改造内閣で、上川陽子元法務大臣が外務大臣に、党内きってのタカ派として知られる木原稔議員が防衛大臣に就任しました。

11月9日の外交防衛委員会で初めて対峙する木原防衛大臣には、「法の支配」の認識を尋ねました。木原大臣は、自民党若手議員の勉強会で、政府の強硬姿勢に批判的な沖縄タイムスと琉球新報に圧力をかけて言論を封じようとしたとして役職停止の処分を受けたことがあります。そのことを問題にし、報道機関への圧力は、憲法21条の報道・表現の自由に反するものだと指摘しました。

上川外務大臣の「法の支配」についての認識は、法務委員会ですでに質問していたことから、16人の死刑を執行した上川大臣が議長役を務めるG7の国々や、死刑制度を廃止した国との信頼関係を築くことができるのか懸念を示しました。

11月16日の外交防衛委員会では、辺野古新基地の軟弱地盤にボーリング調査をせずに埋め立て工事を行うことの問題や、辺野古に新基地ができて普天間基地が返還されない可能性があることについて指摘しました。

11月30日の外交防衛委員会では、前日に起きたオスプレイ墜落事故の問題について取り上げました。2016年の名護市安部でのオスプレイ「不時着水」では、政府の自粛要請を無視してオスプレイが飛び立ち、夜間飛行や空中給油訓練を行ったと指摘し、飛行の即時禁止を求めました。また、朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)から打ち上げられた衛星に対し、政府が沖縄県にJアラートを発出したことについて、政府はどの程度の危険性を把握していたのかを質しましたが、危険性の有無も把握できないまま不安を煽っ

ていたことがわかりました。

12月6日のODA及び沖縄・北方問題特別委員会では、沖縄防衛局が、要請の際に5人までの人数制限をしていることについて見直しを求めました。これについて防衛省は、「早急に見直す」との答弁をしました。この他、北部訓練場跡地の米軍の廃棄物処理についても国が責任をもって原状回復を行うよう求めました。

◆ 本会議決議で初めて反対を表明

11月29日に参議院本会議で行われた「北朝鮮による衛星打ち上げを目的とする弾道ミサイル技術を使用した発射に抗議する決議案」に反対をしました。これまで、このような決議は全会一致が原則という慣例で棄権をしてきましたが、今回は以下の理由で反対しました。北朝鮮は海上保安庁に衛星ロケット打ち上げを予告していましたが、政府はJアラートを発出しました。マスコミは「ミサイル発射」を連呼し、ミサイルがあたかも沖縄県上空を飛来するかのようには避難を呼びかけました。北朝鮮の脅威を煽ることは、日米軍事同盟の強化を正当化し、基地負担に苦しむ沖縄へ更なる負担を正当化するものであり、防衛省が先島諸島や那覇市へのPAC3の展開やその継続の口実になる恐れがあることが、反対の主な理由です。このほか、朝鮮学校への授業料無償化除外やヘイトスピーチ等、今回の発射と何ら関係のない在日朝鮮人への差別を助長してしまう恐れもあります。参議院では17回も同様の決議が行われていますが、沖縄県では海兵隊の航空機が墜落した際にも、悲惨な事件や事故が起きた際にも、本土に復帰して50年の節目のときにも決議は行われませんでした。

◆ 第212回国会 委員会質疑



委員会名	日時	質疑時間	主な内容
外交防衛	11月 9日	17分	所信質疑
外交防衛	11月16日	23分	防衛省職員給与と法
外交防衛	11月30日	26分	一般質疑
ODA沖縄・北方	12月 6日	13分	所信質疑



11月20日、家族法学者とともに法務省を訪ね、「離婚後の共同親権導入に伴う法制度整備についての要望書」を提出しました。

活動記録スナップ



8月11日 台風6号による被害状況について本部町伊豆味の道路崩落現場を平良昭一県議と視察



9月22日 屋良朝博前議員と本部町講演会「最高裁判決と沖縄」



10月3日 辺野古ゲート前にて座り込みに参加、国会閉会中は7回参加



10月4日 平和運動センター「プーチンの戦争を終わらせよう！ウクライナ侵攻に抗議！即時停戦を！平和を求める集会」に参加



10月12日 沖縄市ゲート通りにて戦争準備の日米合同訓練反対市民集会、デモ行進に参加



11月7日 沖縄県の超党派の女性議員で構成する「沖縄うないネット」による沖縄県待機児童解消に向けた保育士配置基準の見直しと公定価格の引き上げを求める要請



12月4日 屋久島でのオスプレイ墜落事故を受け沖縄防衛局へ即時飛行停止を求め社大党で抗議要請



12月11日 #コドソラによる政府要請に同行



—高良鉄美の—

憲法コラム

「憲法審査会は憲法違反!」

2007年に憲法改正の手続きを定めた国民投票法、いわゆる改憲手続法が成立しました。これを受けて、同年、国会法の一部を改正して、新たに憲法審査会が衆参両院にそれぞれ設置されました。しかし、憲法審査会の設置は、明確に憲法違反といえます。

まず、憲法審査会は国会法という法律によって、憲法改正の審査をする機関として位置付けられているからです。つまり、国会は憲法によって作られているのであり、国権の最高機関となっています。ところが、「憲法審査会」は憲法上の機関ではなく、国会によって作られた法律上の機関にすぎません。下位にある機関が、最上位の法である憲法を恣意的に変更しようとするのは、憲法の最高法規性を揺るがし、法の支配に対する無理解を自ら露呈することになります。

また、憲法審査会が重箱の隅をつつくように、憲法を上から目線で審査することは、国会の本来の職務から外れています。必要に応じて限定的に設置されるならまだしも、法の支配を共有する国の中で、いったいどの国が、常設の憲法審査機関を設置しているというの応じてでしょうか?

さらに、「憲法改正の限界」との関係です。「改正」というのは、ある憲法の特徴的な原理、原則を変えない範囲で行うことをいいます。この基本原理を変えることは、その憲法の性質を全く変えてしまうことになるのであり、まったく別の憲法を創ることに他なりません。この視点から、今の平和主義を中心原理の一つとする日本国憲法の9条改正議論を見れば、性質を変えるものだといえます。憲法改正を行うことが国会議員の義務であるかのように語られますが、国会議員にあるのは憲法尊重擁護義務(憲法99条)なのです。

活動報告 2023年8月～

- 8/1 うりずんの会と池田副知事との面談、石垣島PAC3配備に関するヒアリング、内閣府への市民・国会議員共同ヒアリング、令和6年度国の施策・予算に関する要望
- 8/7 入管庁が示した日本で出生した子どもの在留特別許可に関する対応方針に関する記者会見、国際関係学会、高良パネル報告
- 8/10 「山の日」全国大会歓迎レセプション
- 8/11 「山の日」全国大会記念式典・歓迎フェスティバル、本部町台風被害視察
- 8/13 名護市長選挙全島ハリーデー大会
- 8/17 辺野古ゲート前座り込み、うりずんの会防衛分屯地視察
- 8/20 市民党資金パーティー、こうき愛後援会事務所開き、APMC副知事面会
- 8/22 令和5年対馬丸慰霊祭
- 8/23 石垣講演会「ミサイルは島を守るか?」
- 8/24 県庁台風被害状況ヒヤリング
- 8/25 船後講演 presents 命2023
- 8/28 最高裁判決を糾弾し知事の設計変更不承認を支持する緊急県民集会、国際連合大学長特別講演in那覇
- 8/31 関東大震災朝鮮人・中国人虐殺100年犠牲者追悼大会
- 9/1 朝鮮人虐殺犠牲者追悼式典
- 9/3 今帰仁島ぐるみ総会講演会
- 9/5 9.4最高裁判決を糾弾し知事の設計変更不承認を支持する県民集会
- 9/6 共同規程ヒアリング、うりずんの会防衛省要請
- 9/8 辺野古ゲート前座り込み
- 9/9 第3回対話プロジェクトシンポ
- 9/10 第68回沖縄全島エイサーまつり、読谷農業視察
- 9/11 徳田先生勉強会
- 9/12 憲法53条最高裁判決
- 9/15 朝鮮統一支持運動全国集会実行委員会立ち上げ会、全国運動懇親会
- 9/16 沖縄工業高等専門学校創立20周年記念式典・講演
- 9/18 読谷農業地視察、島ぐるみ安里交差点300回目スタンディング
- 9/20 辺野古ゲート前座り込み
- 9/22 本部町講演会「最高裁判決と沖縄」
- 9/23 羽地郷友会敬老会
- 9/24 備後郷友会、沖縄を再び戦場にさせない市民の会設立総会、社大党浦添タウンミーティング
- 9/27 肉用牛経営危機突破生産者大会、9.27ミサイル配備断念を求める市民集会
- 9/28 辺野古ゲート前座り込み
- 9/30 県労連定期大会、朝鮮戦争から考える沖縄と東アジアの平和シンポ
- 10/1 沖縄県講演会「最高裁判決と沖縄」
- 10/2 中華民国112年国慶節祝賀レセプション、辺野古ゲート前座り込み
- 10/3 日本台湾振興団体連合会第57回通常総会交流会
- 10/4 平和運動センター集会
- 10/5 令和5年度九州地方治水大会沖縄大会、うりずんの会行政法学者と意見交換、沖縄中国音楽祭、中国文化展
- 10/6 日本沖縄華僑華人総会創立50周年記念講演会・祝賀会
- 10/7 県民大行動、ノーベル賞受賞スベンデ・ペーボ教授講演会
- 10/8 阿波根島海上上映
- 10/9 伊是名視察
- 10/12 戦争準備の日米合同訓練反対市民集会
- 10/13 デニー知事を守る、集まれ、市民集会
- 10/14 国立自然史博物館誘致沖縄シンポ
- 10/15 名護源河祭り、名護市講演会「最高裁判決と沖縄」
- 10/16 オール沖縄会議自治体議員有志の会学習会
- 10/18 令和6年度水産基盤整備事業関連予算の確保に関する要請、オール沖縄会議記者会見、令和6年度沖縄県の港湾事業に関する要請
- 10/19 国立ハンセン病療養所に関する要請
- 10/20 臨時国会召集、沖縄の風記者会見
- 10/21 遺骨土砂採取計画断念を求める県民集会
- 10/23 日中平和友好条約45周年レセプション、沖縄私立保育園連盟要請
- 10/26 トマホークいらない!10・26緊急官邸前行動
- 10/27 沖縄防衛局に対する抗議集会、沖縄防衛局要請
- 10/28 オール沖縄会議共同代表顧問合同会議、屋良朝博激励会、仲尾次豊年踊り
- 10/29 第47回沖縄の産業祭り
- 10/30 辺野古代執行訴訟知事口頭弁論支援集会
- 10/31 連合沖縄第37回定期大会
- 11/1 平和運動センター集会、琉球泡盛の夕べ
- 11/2 JAおきなわ青壮年部との意見交換会
- 11/3 11・3憲法大行動一つなご憲法をいかに未来へ
- 11/4 全沖縄製糖労働組合定期大会
- 11/5 デニー知事と共に地方自治を守る県民大会
- 11/6 11.6共謀罪廃止!秘密保護法廃止!監視社会反対!国会前行動院内集会
- 11/7 副知事要請、うないネット要請
- 11/8 沖縄県の道路整備に関する要望、那覇市議会要請
- 11/9 沖縄県治水・海岸事業の予算確保について要請、医労連請願署名紹介議員依頼
- 11/11 官野座 屋良朝博激励会
- 11/13 沖縄防衛局要請
- 11/14 副知事要請、高教組要請
- 11/15 沖縄県区労連国会請願署名
- 11/16 沖縄県教職員共済会陳情
- 11/18 足立革新懇学習会、決起集会にて講演
- 11/19 全国労働者総決起集会/改憲・戦争阻止1万人大行進
- 11/20 共同規程要望書提出
- 11/23 沖縄を再び戦場にさせない県民の会県民平和大会
- 11/24 朝鮮統一支持運動第41回全国集会in沖縄
- 11/26 羽地郷友会運動会
- 11/29 さとうきび価格・政策確立の要請
- 11/30 令和5年度全国農業委員会会長代表者集会決議事項の要請
- 12/1 中国琉球歴史学会報告懇談会
- 12/2 県民大行動
- 12/3 那覇マラソン応援
- 12/4 オール沖縄会議オスプレイ飛行停止抗議集会・申し入れ、社大党沖縄防衛局抗議
- 12/7 市民連合政策協定セレモニー、国連・人権勧告実現12.7集会
- 12/8 全国空襲連12.8要請活動集会、遺骨究極調査を求める韓国遺族の思いを聞く会 長生成銃の遺骨を故郷と家族の元へ12.8国との意見交換会
- 12/9 大城貞俊「未発表作品集全4巻」出版祝賀会「琉球新報活動賞」受賞祝賀会
- 12/10 海勢頭豊コンサート
- 12/12 出版労連懇談、#コドソラ議員要請
- 12/13 臨時国会閉会
- 12/15 憲法普及協議会有志によるミサイル基地返還跡地視察
- 12/16 アカヒジさんお墓参り
- 12/17 「日本を戦争する国にさせない、核兵器廃絶平和集会」講演会
- 12/19 伊江島視察
- 12/20 辺野古座り込み、代執行裁判知事支援集会、うりずんの会、県議団との懇談会
- 12/24 中国北京講演・視察

イベントのご案内 みなさまお誘い合わせの上、是非ご参加ください。

参議院議員 高良鉄美

国政報告会

参加費
無料



日時 2024年1月27日(土) 15:00～

場所 八汐荘 屋良ホール (那覇市松尾1丁目6-1)

問い合わせ 098-885-7171 (高良鉄美事務所)

支援のお願い

高良鉄美の活動は、皆様からの個人献金(個人のカンパ)で支えられています。口座名:高良鉄美後援会 会計責任者 高良克美

振込先	支店名	店番号	口座番号
ゆうちょ銀行 (郵便局からの振込)	—	—	01780-9-171205
ゆうちょ銀行 (他金融機関から)	一七九 (読み イチナナキユウ)	179	0171205

献金は郵便振替が手数料が少なく、便利です。職業明記をお願いします。振替申し込み、住所、氏名、電話番号、職業、メッセージ等を記していただく、後援会まで届きます。